

平成29年度の重点課題

- 男女ともに、「50m走」、男子では「長座体前屈」「握力」に課題がある。
- 体力の二極化が見られる。運動量が少ない児童がいる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 各教室にハンドグリップを配布し、握力向上に努める。
- サーキットトレーニングに長座体前屈や走ることを取り入れ、体育の授業前に取り組む。
- 「ステップアップカード」をさらに活用し、個別に目標を持たせ、弱点種目の強化に努める。
- 全国平均値一覧を校舎と体育館に掲示し、目標を持たせる。

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成29年度)・全国平均値(平成28年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	6.00	18.00	35.50	36.00	21.50	12.70	113.50	7.50	34.50	第1学年	7.50	17.50	28.50	32.50	16.50	11.80	133.50	12.00	39.50
第2学年	7.00	21.50	28.50	37.00	25.50	12.00	131.00	11.50	38.50	第2学年	8.25	19.00	32.25	34.75	28.00	12.20	117.75	9.00	41.00
第3学年	12.60	22.40	27.40	37.00	36.80	10.74	137.60	18.40	45.60	第3学年	14.60	25.60	37.80	42.60	53.20	10.04	136.80	15.00	57.60
第4学年	12.67	24.33	33.00	46.00	74.00	9.33	147.67	30.33	57.67	第4学年	13.00	17.67	39.33	42.33	38.00	10.27	158.00	12.33	55.00
第5学年	17.20	22.40	36.40	47.80	62.40	9.40	163.80	28.80	60.40	第5学年	16.40	22.00	38.40	46.60	49.40	9.23	156.60	22.80	62.60
第6学年	24.50	27.00	40.00	49.00	85.50	8.45	181.50	42.50	72.00	第6学年	19.75	24.75	44.75	50.75	56.50	9.26	168.25	23.60	71.00

県平均値かつ全国平均値未満

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成30年度)・全国平均値(平成29年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	6.00	18.00	35.50	36.00	21.50	12.70	113.50	7.50	34.50	第1学年	7.50	17.50	28.50	32.50	16.50	11.80	133.50	12.00	39.50
第2学年	7.00	21.50	28.50	37.00	25.50	12.00	131.00	11.50	38.50	第2学年	8.25	19.00	32.25	34.75	28.00	12.20	117.75	9.00	41.00
第3学年	12.60	22.40	27.40	37.00	36.80	10.74	137.60	18.40	45.60	第3学年	14.60	25.60	37.80	42.60	53.20	10.04	136.80	15.00	57.60
第4学年	12.67	24.33	33.00	46.00	74.00	9.33	147.67	30.33	57.67	第4学年	13.00	17.67	39.33	42.33	38.00	10.27	158.00	12.33	55.00
第5学年	17.20	22.40	36.40	47.80	62.40	9.40	163.80	28.80	60.40	第5学年	16.40	22.00	38.40	46.60	49.40	9.23	156.60	22.80	62.60
第6学年	24.50	27.00	40.00	49.00	85.50	8.45	181.50	42.50	72.00	第6学年	19.75	24.75	44.75	50.75	56.50	9.26	168.25	23.60	71.00

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 男女ともに、「50m走」「握力」に課題がある。
- 習い事等で、日ごろから運動に親しんでいる児童と、そうでない児童の体力の二極化が見られる。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- サーキットトレーニングに走ることを取り入れ、体育の授業前に取り組む。
- 各教室にハンドグリップを配布し、朝の会や隙間時間に行うようにし、握力向上に努める。
- 家庭とも連携し、「グーパー運動」等に取り組む。

平成31年度の目標値 ○「50m走」「握力」...県平均以上の児童を60%以上にする。